永　福

令和５年５月３１日
杉並区立永福小学校

あいさつ・返事・後始末

生活指導主任

運動会にご参会いただきありがとうございました。当日は晴天の中、どの子供たちも一生懸命に取り組んでいました。また３年ぶりに全校児童が外に出て、他学年の演技や走る姿を直接見ることができました。自分たちの学年の頑張りはもちろん、間近でみる演技や真剣な表情から、他学年のよさや頑張りが子供たちに伝わり、認め合えるとうれしいです。ゴールデンウィーク明けからの３週間、一人一人が努力してできるようになったことや、友達と協力して取り組んだことを、今後の学校生活にも生かせるよう、指導していきたいと思います。ぜひご家庭でも、温かい言葉を掛けていただければと思います。

さて、運動会で大きな行事がひと段落します。そこで、６月は４月に確認した基本的な生活習慣を見直す機会にしたいと考えています。指導の中で意識したいのは「あいさつ・返事・後始末」です。これは有名な教育哲学者の森信三先生の「しつけの三大原則」というものです。これは、「１.朝のあいさつをする子に」「２.『はい』とはっきり返事のできる子に」「３.席を立ったら必ず椅子を入れ、履物を脱いだら必ずそろえる子に」というものです。きわめて単純な教えですが、人を育てる基本を見事に捉えられていると思います。

また６月は「ふれあい月間」です。永福小学校では「学校生活アンケート」を実施し、子供たちの生活の中で楽しいことや頑張っていること、困っていることや悩んでいることなどを聞き取り、そのアンケートをもとに子供たちの実態を把握したり、悩みなどの相談に乗ったりするきっかけにし、子供たちの心に寄り添うことを重点としています。どの子も、安心して自分らしく毎日を過ごせる場所であってほしいというのが、私たち教職員の願いです。そのためには子供同士が思いやりや互いのよいところを認め合い、尊重できる人間関係作りを大切にできるようにと考えています。マスクに覆われ表情も見えにくくなった期間が長く、マスクなしで過ごせるようになった今も、コミュニケーションを上手にとるということが課題の一つになっています。

これからも永福小学校に通う全ての子供たちが、身辺を整える３つの基本を大切にしながら、互いを思い合える言葉が増え、社会に必要とされる優しい子に育っていけるよう、努めてまいります。

熱中症対策について

体育の授業や休み時間の前に暑さ指数（WBGT）を計測します。暑さ指数が 28℃以上（厳重警戒）時には、黄色コーンを置いて激しい運動をしないよう注意を促し、31℃以上になると運動を原則中止としていきます。水筒や汗拭きタオル、帽子、（ネッククーラー）などの持ち物には記名をお願いします。また、登下校中に水分補給が必要な場合は、安全に気を付け、立ち止まってから飲むように伝えています。また、帽子の着用にもご協力ください。ご家庭でも熱中症対策についてお話をしていただけますよう、よろしくお願いいたします。

6月の生活目標『落ち着いた生活をしよう』

警察庁の統計によると、小学生の交通事故についてピークを迎えるのは５月下旬から６月だそうです。友達ができて交友関係が広がることが要因の１つにあります。歩行者側には違反のないケースも少なくありませんが、事故原因の第一位は「飛び出し」です。遊びや他のことに夢中になるあまり、安全確認に必要な視野が狭まってしまうのは、子供の行動特性の １ つです。学校だけでなくご家庭も含めた「二重の声かけ」で、児童を守っていきたいと考えています。また、低学年のうちは、工事による迂回路や路上駐車などで通学路が変更になると、何に注意を向ければよいのか判断できないこともあります。そのため、保護者の方と一緒に通学路を歩き安全について考える機会をもってみてはいかがでしょうか。